

①「西東京ふるさと探究学習」

田無小学校

第2学年 えがおのひみつたんけんたい（町探検）

10月4日（金）に、第2学年児童108名が地域の18施設に町探検に行きました。地域コーディネーターが各施設への声かけを行ってくださることで、どの施設も大変協力的に見学を受け入れてくださりました。それぞれの施設やお店を見学することで、児童は、自分たちの町の良さや人々の温かさを学ぶことができました。



シチズン

様々な時計の歴史を教えてくださいました。



田無神社

境内を見学しました。地域を代表する神社です。



パティスリー スマイル

おいしそうなケーキやお菓子がたくさん。



アスタ

店員さんにたくさん質問をしました。

「お店の一番人気の商品はなんですか？」「田無の小学生に田無警察のみなさんから伝えたいことは何ですか？」2年生の児童が考えた質問に対して、お店や施設の皆様は快く真剣に答えてくださいました。素敵な町の素敵な人々、みんなに支えられて私たちが生活しているということを 実感できる活動になりました。

こんな活動も
しています！

地域の農家の方に教えてもらおう（わかば学級）

地域の方に「働くこと」を教えてもらおう（6年生） など

①「西東京ふるさと探究学習」

保谷第一小学校

第6学年 「This is me !! ～10年後の未来へ～」 (キャリア教育)

ねらい

いろいろな仕事・職業について調べる活動を通して、自分のキャリアプランについて考える。

【活動の概要】

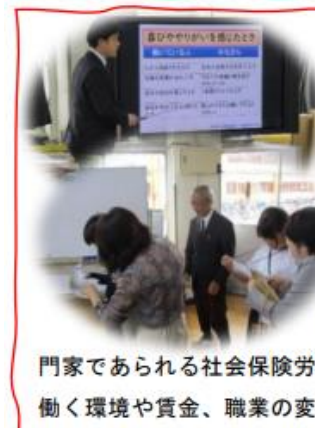
- ・自分の将来の選択肢を増やす為に、自己理解を深める活動に取り組んだり、身近な職業の方々インタビューをしたりした。それらの活動を通して、自身の仕事観について考えを深めることができた。学習のまとめとして、本校の学習発表会で「劇」の形式で保護者の方々に向けて発表をした。



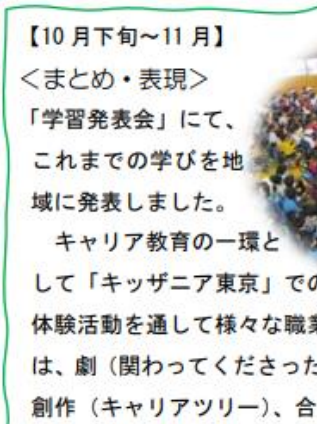
【9月上旬～】
＜課題の設定＞
自分の個性についてリフレクシングし、興味ある仕事について調べました。
9月には、元体操選手で本校卒業生である宮川紗江さん、西東京消防署の消防士の方々から、「キャリア」や「働くこと」についてお話をうかがい、仕事について具体的なイメージをもちつつ、自分の個性・特性を見つめていきました。



【9月下旬～10月上旬】
＜情報収集＞
お家の方、地域の方、担任にインタビューをし、仕事について理解を深めました。
6年担任から直接仕事観やキャリアについて話を聞きました。また、飲食業に携わる地域のお店の店長さんであり、保護者でもあるお父様3名から、下積みや仕事の「やりがい」についてお話をうかがいました。



【10月中旬～】
＜整理・分析＞
調べたことやインタビューしたことなどを振り返りながら、自分を表す「キャリアツリー」の作成に入りました。
「働くこと」について専門家でられる社会保険労務士の方々をお招きし、働く環境や賃金、職業の変遷や未来についてご講演いただきました。仕事をする人々は法律により守られていることを改めて学ぶことができました。



【10月下旬～11月】
＜まとめ・表現＞
「学習発表会」にて、これまでの学びを地域に発表しました。
キャリア教育の一環として「キッズニア東京」での体験活動を通して様々な職業に触れました。11月中旬には、劇（関わってくださった方々とのエピソード）、共同創作（キャリアツリー）、合唱・合奏・ダンス（This is me.）と、様々な角度から、「働くこと」について表現、発表することができました。

「仕事」「働くこと」「やりがい」「自分の可能性」について、児童自身がインタビューをしたり、直接お話を聞いたりすることで、自己の将来像と重ね、自分事として「キャリア」を考えることができました。学習の成果として表現をした「学習発表会」最後のセリフ、将来の自分像に想いを馳せながら全員で「This is me!!」を声高らかにご参観いただいた保護者の方々・地域の方々にお伝えすることができました。

こんな活動も
しています！

ふるさとグルメ応援プロジェクト（お米の学校）、ミシンなどの裁縫補助、調理実習の調理補助、遠足や地域探検の付き添い補助など

① 西東京ふるさと探究学習

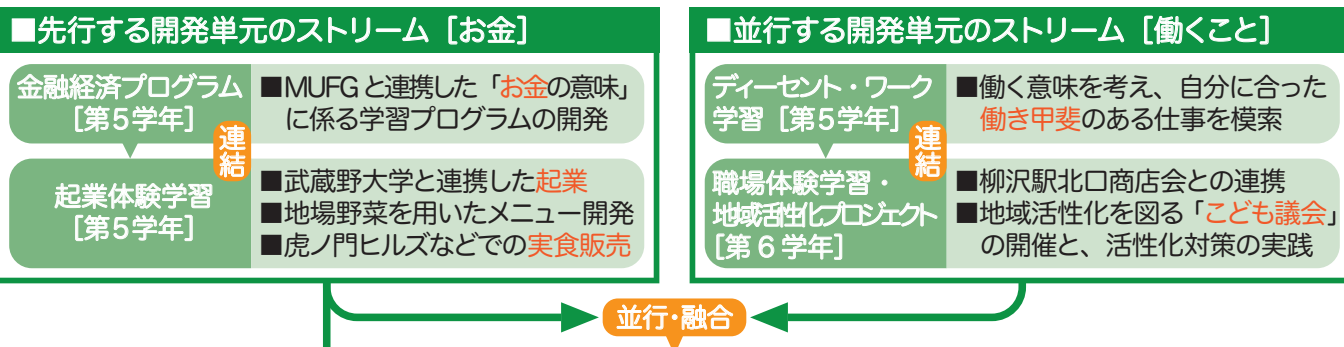
保谷第二小学校

こども議会 租税委員会

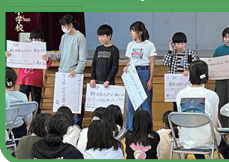
【活動のベース】本校は、コミュニティ・スクールとして、**教育課程そのものを媒介**にすることで地域社会との互恵的な関わりを深め、地域の素材を用いたリアルな学習活動を持続可能にしています。そのため、総合的な学習の時間を中心に、内容に応じて各教科等を横断させる複合単元「**市民科**」を設け、先進的な単元開発を進めて4年目になります。学校目標「**自ら伸びる**」児童の育成に、手応えを感じています。

【探究とは何か】かつてない単元の開発を重ね、校内研究を通して試行・実践するなかで掴んだことは、
 ① 優れた単元は、そのなかで、いくつもの**探究の局面**を生じさせること
 ② ①の複数の単元を、必然性をもって**連結**させることで、それ自体が新次元で探究の局面をもたらすこと
 ③ ②の連結単元のストリーム（経路）は、別のストリームとの**並行・融合**を、意図的に起こせることです。学習指導要領解説が示す探究の模式図を、①と②の両立、③の新視点において超えると自負します。

【この単元に係る開発単元の系統図】



■こども議会

【探究①】 租税教室  ■税務署と連携した二日間の学び。 ■税金とは何か、どんな種類や目的があるかを知った。 ■事後に、税金の使い道を4つにグルーピングした。 ■タブレット型端末などを用いて、個別調査し、自宅で反転学習。	【探究②】 こども議会（第1次）  ■西東京市の税金の使途について行政職員から学んだ。 ■4つのグループ（生き生き・環境安全・教育）ごとに、事前調査を根拠に、考えを伝え合う。 ■池澤市長をはじめ、行政職員に具体的な質問をした。
【探究④】 こども議会（第2次）  ■西東京市議会議場を会場として、保護者や地域住民を傍聴に招き、こども議会（第2次）を行った。 ■4つの政党ごとに、税金の有効活用の方策について表明した。 ■政党ごとに、他の政党の掲げる方策について、質疑応答した。 ■税金活用の方策を、池澤市長に提言した。	【探究③】 模擬選挙  ■税金の有効な使い道について、生成AIが集約した4つの政党のマニフェストが示す新たな視点から、自らの考えを見直した。 ■ドーナツ型に座り、一定時間で相手を替え、考えを伝え合った。 ■自らの考えを確定し、模擬選挙を行って、支持政党に投票した。 ■4政党ごとに、具体策を詰めた。

■後詰めとなる開発単元のストリーム【お金】

株式体験学習 【第6学年】	■MUFGと連携した「株」に係る金融経済プログラムの開発 ■現金を用いた株式投資を検討
------------------	--

【活動の成果等】

- 複数の単元を連結させたり、異なる連結単元を並行・融合させたりすることで、より深い探究に児童を解き放つ**プロデュース**手法を学びました。
- 児童の**意思表示**の場を、学習活動で実現しました。
- 必要に迫られ、**教育DX**がめざましく進みました。

①「西東京ふるさと探究学習」

谷戸小学校

西東京市のみりよくを伝えよう「ハッピープロジェクト」 第4学年

【活動の概要】総合的な学習の中での関わり①環境アドバイザーや農家の方々に自然の見方や地域の様子について話を伺った。②フレスポひばりが丘で、学習の成果を展示。③J:COM ケーブルテレビにインタビューを受けたり、学習の取り組みや成果を地域へ発信していただいたりした。④放送後ゆっくりプロジェクトについて地域の方々に見ていただく場所として、公民館に働きかけ、学習の成果物を展示していただくということが実現した。

谷戸ハッピープロジェクト

自分の住んでいる地いきをよりよいものにしよう！！

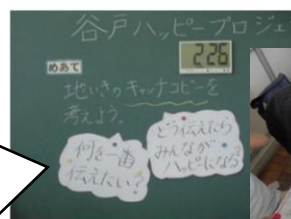
公園：ボランティアの人がきれいにしてくれ、ベンチが木陰となり、涼しい。
ボランティア：ゴミ拾いをしてくれ、「おはよう。」とあいさつしてくれる。
地域の人：歩いていると道をゆずってくれる。パトロール、ゴミ拾い、そして、元気に話しかけてくれる。



ウマノスズクサ 絶滅危惧種で、いこいの森公園に生えている。
春は桜、夏に緑、秋は紅葉。四季折々美しい。
谷戸のまちには水が豊かで、谷戸小に黒松が生えてるのはそのため。



『ポイすてストップ』
ポイすてをしたら、谷戸のまちがきたなくなり、みんなが不安になる。
だから、ふだんからポイすてしないように心がけてほしい。



○子どもたちが考える西東京市のよさ

- ・自然が多くある ・便利な場所、お店が多くある ・人が親切、優しい ・野菜がおいしい、安い
- ・バスや電車があり便利 ・公園が多い ・人が多い ・危険が少なく安全、安心して過ごしやすい
- ・住みやすい

○子どもたちが考えたキャッチコピー

「人目につかない所こそ大切に！」 「目線の先には、ゴミ1つもなし！」 「地いきの人のために動いている谷戸」

こんな活動も
しています！

クリーンデー 体力テスト 体育まつり 読み聞かせ
市民祭りへの参加 芝生救出大作戦 芝生を守るための雑草抜き

①「西東京ふるさと探究学習」

中原小学校

町が大すき たんけんたい（第2学年 生活科）

【活動の概要】11月26・28日に、2年生の児童が地域のお店にインタビューに行きました。地域コーディネーターが連絡を取り、受け入れ先を選定していただきました。グループに分かれ保護者付き添いののもと、それぞれのお店を周り、あらかじめ自分たちが考えた質問をお店の人に聞きました。インタビューしたことを元に紙芝居を作成し、各学級で発表しました。

【写真】お店の人に質問をしているところ

どんなことをしているお店なのかな？ 何時からやっているのですか？
たくさん質問に答えてくれて、お店のヒミツがよく分かった。



（活動の成果や児童・生徒、参加された地域の方の声など）

今回の学習を通して、地域のことを知れて、地域に愛着がわきました。（2年児童）

こんな活動も
しています！

ひばりが丘大研究（ひばりが丘団地の成り立ちや現在の様子について知る）
レスキューバード（防災の取り組みに関する学習） など

①「西東京ふるさと探究学習」

向台小学校

生活科・総合的な学習の時間を通した、ふるさと探究学習について

【活動の概要】本校の4年生は、総合的な学習の時間に「福祉」をテーマに学び、誰もが暮らしやすい社会について考える活動を行っています。4学級あるうちの1学級は、外国人の方のよりよい生活を探究課題とし、地域コーディネーターを通して、外国人の方との交流を行ってきました。文化や言語の違いを理解し、外国人が日本で快適に暮らせるための工夫について考えました。タブレット端末を活用した調べ学習に加え、実際に関わり合う体験を重ねることで児童が世界について知り、様々な背景をもつ人々を尊重する心を育てることを目指しています。

ALT（外国語指導助手）の先生をお招きして、日本の伝統的な遊びを紹介したり、海外の遊びを紹介してもらったりしました。日本の遊びと似ているものや、全然違った遊びがあることに驚きました。一緒に時間を過ごせば過ごすほど心の距離が縮まりました。



西東京市多文化共生センター（NIMIC）の方を講師にお招きして、多文化共生に関する講演をしていただきました。日本に住んでいる外国人の方が日本で感じる課題や、地域社会ができるサポートについてお話を伺いました。

<活動を通して>

子どもたちは、学習を通し、自分たちの生活の中にある「気付き」を発見し、それを他者の立場に立って考える力を育てています。「自分と違う文化をもつ人がいて、世界には色々な生き方があったことが分かった。」「外国人の方が困らないように『やさしい日本語』で説明する工夫が大事だと思った。」など、子どもたち自身から多くの感想が出ました。

他の学年では、
こんな活動もしています！

農家や食に関わるお店へのインタビュー活動（食）
やさしい日本語でつくる遊び紹介パンフレットづくり（福祉）
避難所開設訓練への参加（防災）
地域の伝統文化にかかわる人々との交流（伝統文化）

①「西東京ふるさと探究学習」

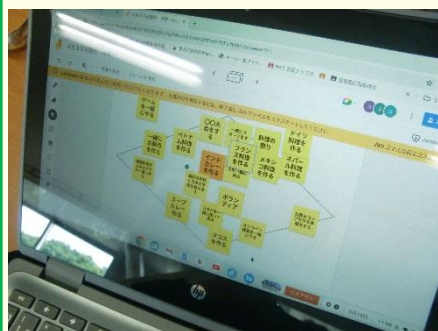
谷戸第二小学校

第6学年

作って、食べて、知ろう！グルグル！クッキング！！

【活動の概要】

本校の第6学年は『キャリア』『国際理解』を探究テーマと設定しています。地域の外国の飲食店の方々にインタビューをしたり、料理を作ったりしながら、外国の文化や働くことについて学んでいます。自分たちが外国料理のレストランを開いて働くという活動をするために、探究しているところです。



【4月】

探究課題を確認し、地域で働く外国人の方が大切にしている文化や価値観と自己の将来について学んでいく際、自分たちは

どんなことができそうかことをしたいか、まずは全員がアウトプットを行った。地域で働く外国人の方についても同時に調べていきました。



【7月】

地域にあるお店の一つである「ローカルインドア ひばりが丘店」に行き、インタビューさせていただきました。インド人の方に直接お話を伺い、インドの文化に驚きながら、たくさんの質問をしました。

また、カレーを試食させていただき、そのおいしさに感動していました。



【11月】

中華料理店の「菜々坊」にインタビューさせていただきました。その後、実際に水餃子の作り方を教えていただきました。水餃子は皮の作り方が難しいという話を聞き、皮をこねながら感覚をつかもうとしていました。

【12月】『グルグル☆コンテスト』

自分たちで作った料理を、お世話になった飲食店の方々に試食していただきました。「合格」「不合格」で判定してもらい、アドバイスをいただきました。



実際に地域の方々と関わりながら料理をすることで、子供たちは意欲を高めました。『グルグル☆コンテスト』で、いただいたアドバイスをもとに、料理の改善点を見付けることができました。今後、子供たちの活動のゴールである、レストランの開催に向けて、探究を深めていきます。

こんな活動も
しています！

5年生は「伝統文化・現代日本」を探究テーマに、かりんとうのお店やアニメーション会社、茶道の先生、畳屋など様々な地域の方と関わっています。

①「西東京ふるさと探究学習」

東小学校

地域の方とつながる

【活動の概要】

ふるさと探究学習では、全学年で、地域人材を活用した学習を行いました。コーディネーターに依頼し、保護者や地域の方々とのつながりを持ちました。児童は、様々な体験学習を行いながら、地域とのつながりを大切に、地域への思いを深めています。「地域の方と学んでいる」という実感を伴った学習を、今後も目指していきます。

【1年生】

9月9日に、西東京市シルバー人材センターの方をゲストティーチャーとしてお招きし、文理台公園のゴミの現状や、掃除の仕方について等、お話ししていただきました。

【2年生】

10月8日に、町たんけんへ出かけ、働く人々の「笑顔の秘密」に迫る質問やお店・公共施設の工夫をたくさん質問しました。普段は見ることのできない場所を見せてもらい、興味津々でした。

【3年生】

「下保谷の自然と文化を記録する会」の方に教わりながら、藍を育てました。保谷の昔を知りたいという、児童の思いから、「下保谷四丁目特別保全地区」に見学に行き、「昔のくらし」や「保谷と藍のつながり」について、保谷第一小学校のコーディネーターの古賀さんを中心に、保存会の方たちから教えていただきました。

【4年生】

外国生まれの方や、地域で働く人など、地域に暮らす様々な方々にインタビューを行い、保谷の魅力について考えを深めました。

【5年生】

西東京市の農家や農産物について知るために、市役所の方や西東京市の農家の方から話を聞きました。聞いた話を基に、自分たちができることを考えました。

【6年生】

東小の歴史を調べるために、今までの周年記念誌や当時学校に通っていた人から話を聞きました。体育館がない頃は廊下で体育をしていたことや、以前学校で火事があったことなど、驚くようなことをたくさん教えていただきました。



ふるさと探究学習を通して、子どもたちは、地域の様々な方と触れ合うことができました。「（体験学習でお世話になった）〇〇さんに公園で会って、あいさつをしました。」と報告をしてくれることもありました。このような「つながり」が生まれたことも、この学習の大きな成果であったと感じます。

こんな活動も
しています！

・地域包括支援センターの方や地域の方を講師としてお招きし、認知症サポーター養成講座を行いました。（4年生）

●●環境保全課からいただいた土を利用し、自然学習を行っています。（2年生）

①「西東京ふるさと探究学習」

住吉小学校

総合的な学習の時間

「住吉小開校40周年プロジェクト」

【活動の概要】

住吉小学校開校40周年を機に、学校の歴史を知ろうという学習課題を設定しました。そのために、保護者や地域で住吉小学校の過去の様子を知っている方がいるか、またその様子をアンケートや講演で教えていただけないかと呼び掛けました。卒業生や昔から地域で小学校を見守ってくださっている方、先生として学校にいらっしゃった方などに、アンケートやインタビュー、写真資料の提供などにご協力いただき、記念式典で発表する動画にも出演していただきました。



開校当初の先生に来ていただき、開校時の子どもたちや学校の様子についてお話いただきました。



開校当時在籍していた卒業生もお話に来てくださいました。先生とはまた違った児童目線から見た学校生活の様子を知ることができました。



泉小との統合時にいらした先生に、統合したときの不安や苦労、それを解消するための先生方や子どもたちの取り組みの様子を教えてくださいました。



日頃から学校を支えてくださっている地域の「育成会」の方々には、地域から見た学校、地域の住吉小に対する思いなどを伺いました。

本校が開校してからこれまでの40年の間で、たくさんの方が学校に関わり、様々な立場の人の思いが積み重なって今につながっていることを実感することができ、子どもたちも自分もそんな学校の歴史に関わる一員であると感じられたようでした。協力者の皆さんも「久しぶりに学校に関われてうれしい。」と言ってくださいました。その後も、行事のたびに学校に子どもたちの様子を見にきてくださるなど、改めて人のつながりが広がっています。

こんな活動も
しています！

(例) 環境委員会の花壇づくり補助 生活科リース作り補助
町たんけんや地域安全マップ作りの引率補助 など

①「西東京ふるさと探究学習」

第4学年 西東京市「町おこし」プロジェクト けやき小学校

～「だれもがくらしやすい町」を目指して～

【活動の概要】

4年生は総合的な学習の時間に、『西東京市「町おこし」プロジェクト』という単元で、ふるさと探究学習を進めています。単元のゴールに「だれもがくらしやすい町＝西東京市」についてまとめPRできるようになることを設定し、福祉や防災の側面から地域の「材（財）」を通して調べたり話し合ったり考えたりしています。

人にやさしいまち 西東京

5月 西東京市視覚障害者協会の方 来校

視覚障害がある方のご苦勞や生活上の工夫、サポートの仕方について学びました。

6月 (社福)さくらの園の方 来校

職員の方々の話を伺い、「障害」について理解を深めることができました。

(社福)東京老人ホームの方 来校

高齢者疑似体験、車椅子の体験をさせていただき、高齢の方のご苦勞やサポートの仕方について考えました。

9月 (社福)特別養護老人ホーム クレイン訪問

高齢の方々や介助する方々の思いやご苦勞について、見学を通して学ぶことができました。

11月 クレイン再訪問

運動会で演じた「御神楽」を施設内で披露し、またメッセージカード等を差し上げ大変喜んでいただきました。



災害に強いまち 西東京

9月 西東京市役所危機管理課の方 来校

西東京市で想定される地震や水害等、それらへの対応について詳しくお話いただき、危機管理(防災)への意識が高まりました。避難所運営協議会のメンバーも参加しました。

11月 西東京レスキューバードの方 来校

西東京市の「防災を考え・行動する」ボランティア団体の方々から、防災マップの作り方についてわかりやすく教えていただきました。

12月 地域巡り(防災マップ作り)

避難所運営協議会とけやき応援団(ボランティア)の方々にご協力、見守りをいただきながら、学区の防災施設、危険箇所等について調査してオリジナル防災マップ作りにつなげました。



(活動の成果や児童、参加された地域の方の声など)

○ 児童の感想より

- ・クレインさんで踊りを見せて最後にプレゼントをわたした時、うれし泣きをしているおばあちゃんがいて、そんなに「うれしい！」と思ってくれているんだと自分もうれしく思いました。拍手もあいさつもしてくれて、楽しかったです。
- ・おどりはむずかしかったけど、おばあちゃんやおじいちゃんが喜んでくれて、とてもうれしかった。
- ・地震について、自分たち、地域の人たちにできること、市役所などがやっていることを知ることができた。家でも確認したい。
- ・ふだんの道なのに、いろいろな大きさの防火水そうがあって、面白かった。
- ・意外な所に消火せんや消火器、ひなん所があって、びっくりした。自分の家の近くにも、いっぱいひなん所や消火せんがあることが分かった。

**けやき応援団(けやき小学校地域
学校協働活動)では、こんなことにも
取り組んでいます！**

- ・2年 町探検 (学区内の店舗・事業所への依頼)
- ・3年 農家見学 (農園への依頼)
- ・将棋クラブ ボランティアの依頼 ・栽培委員会の活動補助
- ・読み聞かせ ・けやきほっとルーム (月一回の相談室開設)
- ・環境活動 (校内清掃、夏休みの雑草取り)
- ・漢字検定 (年2回実施) ・学校閉庁日の飼育活動
- ・けやき応援団通信の発行
- ・放課後子供教室 ・生涯学習事業 (園芸教室・手作り味噌教室等)
- ・クリーンデー (学区域のごみ拾い) ・環境整備 (学校花壇の花植え)

など

①「西東京ふるさと探究学習」

田無第一中学校

第2学年 ウェルビーイングな西東京市に向けて

【活動の概要】2年生では、総合的な学習の時間を「ウェルビーイングな西東京市」というテーマを掲げ、①田無特別支援学級とのボッチャ交流会、②SDGs新聞、③職場体験、④企業訪問の4つの活動を行いました。各活動から学んだことを「フィッシュボーン」、「バタフライチャート」などの思考ツールを用いて整理・分析し、ウェルビーイングな西東京市の達成に向けて考えを深めました。

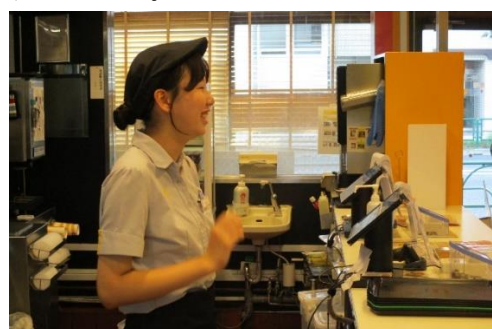
【課題設定】

田無特別支援学校の先生による共生社会に向けた講演会やボッチャ交流会を通し、西東京市にはいろいろな人が暮らしていることを再確認し、「ウェルビーイングな西東京市とは、どのような町か」を考え、課題設定を行いました。



【情報収集】

夏休みの宿題でSDGs新聞を作成し、環境や人権などの観点からウェルビーイングについて理解を深めました。また職場体験や企業訪問では、そこから各自が設定した課題についてインタビュー等を行い、情報収集を行いました。



【まとめ・表現】

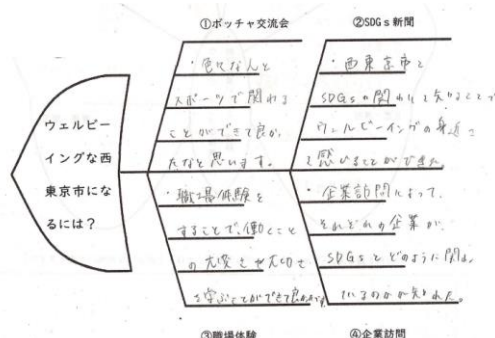
これまでのまとめとして、西東京市のウェルビーイングを支える人を紹介するポスターを作成し、発表を行いました。互いの発表を聞き合う中で、常にお客さんや地域の方々のことを思い働いている点は、どの職業にも共通していることに気付きました。作成したポスターはお礼状とともに、各事業所に送付しました。



保谷柳沢
児童館

【整理・分析】

これまで学習してきた①ボッチャ交流会、②SDGs新聞、③職場体験、④企業訪問の4つの活動から学んだことを整理・分析しました。地域や社会で働く方々は、そこで暮らしている私たちのウェルビーイングを支え、よりよい社会を築いていくために働いていることに気付きました。



①「西東京ふるさと探究学習」

田無第一中学校

第1学年 西東京市トレジャーハンター

【活動の概要】1年生は「西東京市のお宝とは何か」という問いで探究学習に取り組みました。場所やもの、歴史、人物など各自がお宝であると考ええるものについて、実際に見学や体験・インタビュー活動をするなど、地域と関わりながら学習しました。最後に、各クラスで調べたお宝を地図上にまとめました。

【課題設定】

最初にフォトログイニングといって、地域の写真と同じ場所を探すまち探検を行いました。この活動を通し、西東京市には「自分たちの知らない魅力がまだあるのかもしれない」という気持ちを高めました。



【情報収集】

夏休みの宿題で各自が西東京市のお宝だと思う場所や物について、調べました。実際に訪れたり、インタビューをしたりすることで、地域と関わりながら学びを深めました。



【まとめ・表現】

これまでのまとめとして、西東京市お宝マップを作成しました。地図の周りには、お宝の魅力がわかる紹介文を書きました。



【整理・分析】

自分たちの調べてきたお宝の魅力をクラスで発表しました。同じ場所でも人によって着眼点が違うことに気付くことや、テーマや地域ごとに分類することで、改めて「西東京市の魅力とは何か」を考えました。



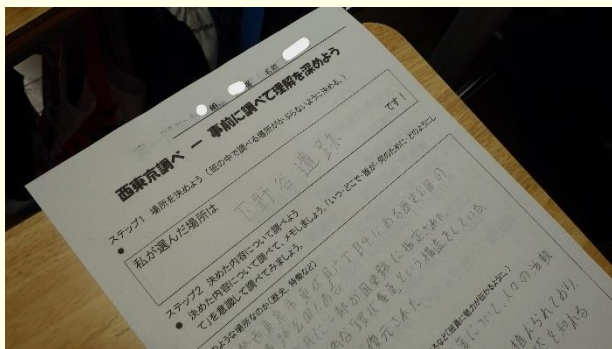
①「西東京ふるさと探究学習」

青嵐中学校

第1学年校外学習「西東京市内魅力発見」

【活動の概要】7月5日に市内巡りを実施し、西東京市の魅力を見つける活動を行いました。小学校で学んできたことを生かして考え、事前学習で魅力的な場所を調査し、フィールドワークで実際に見て学ぶ、聞いてくる、体験するという学習です。事後学習ではタブレット端末を使って1人1枚のスライドを作成し、それを班員が持ち寄って、【誰に対してどんな魅力があるのか】（例：子育て世代に魅力ある公園、外国人観光客に魅力ある歴史など）という壁新聞を作成しました。完成した壁新聞は「早稲田大学地域連携ガク部 - 結の芽 -」の大学生や市役所「生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課」の職員の方々にご覧いただきました。

6月に市内を事前調査し、班員とコースづくりをしました。



東大農場でスタッフの方の説明を聞いています。



いこいの森公園、東伏見稲荷神社、多摩六都科学館、旭製菓など市内にはたくさんの魅力があることを再発見しました。

事後学習では市内の魅力を壁新聞にまとめました。

学習を終えて……生徒たちの感想より

- ・西東京の歴史に向き合えた。これからも魅力を見つけていきたい。
- ・西東京には自然が多いことが分かった。魅力を発見することができてよかった。
- ・西東京のことはだいたい知っていたと思うんだけど、知らないことがたくさんあって勉強になった。

こんな活動も
しています！

平和学習企画 放課後わくわく自習室 せいらんブックカフェ 花いっぱい活動
キャリア教育（職業講話講師紹介） 避難所運営コンサート マジックショー開催

①「西東京ふるさと探究学習」

田無第四中学校

学校行事(職場体験等)への協力

【活動の概要】

①職場体験

●企業の紹介 ●新しい企業とのつながりづくり

②ボランティア活動

●地域清掃活動への参加

①職場体験企業紹介

第2学年で実施する職場体験では、コロナ禍の影響で体験先の確保に不安のある中で準備をすすめていたところ、地域コーディネーターをはじめ多くの方の支えにより、二日間で62か所の事業所に体験先として協力を得ることができました。

継続して体験をお願いすることが難しい企業もある中ですが、引き続き生徒のよりよい学びのためにコミュニティ・スクールの力をお借りして、地元の企業とのつながりをもち続けていきたいと考えています。



- 教員から…コミュニティ・スクール委員の方は地元にも学校にも精通していらっしゃる方が多いので、とても心強く感じている。
- 生徒から…色々な事業所から選択できたのが良かった。仕事は大変だったけれど、事業所の方が丁寧に教えて下さり、とても楽しくなった。

こんな活動も
しています！

②生徒ボランティア活動への参加

各学年、ボランティアで落ち葉掃きを学年別に日を変えて実施しています。今まで生徒と合同で取り組む機会がなかったので今年から実施しています。

①「西東京ふるさと探究学習」

明保中学校

【活動の概要】単元名

- 【1 学年】西東京市や学校周辺の地域の課題を知り、地域の活性化に取り組もう
- 【2 学年】西東京市のすべてのいのち輝くSDGs アイデア
- 【3 学年】進路の選択と持続可能な社会の実現

【1 学年】

ねらい

西東京市や学校周辺の地域の特徴を知り、地域の方々との関わりを通して、地域の方々の姿勢や願いを理解する。地域のよさや課題に気づき、身近な地域の課題を自分ごととして捉え、よりよい地域づくりに参画していきたいという気持ちを育む。

- ①西東京市や学校周辺の地域の特徴を知ろうということで西東京市の制作したPR動画を視聴しました。
- ②保谷駅周辺（明保中周辺）の良さや課題についての見方を広げるために、家族等の意見を集めました。
- ③個人テーマの決定。これまでの学習やウェビングマップ、趣味など自分の興味のあることと西東京市を関連させて あみだくし × 西東京市という形でテーマを決めました。
- ④夏休み明け、西東京市内めぐり（校外学習）に向け班ごとに問いをたてスタート。プロジェクトの名称は「Let's search for 西東京市」に決定。

探究学習の時間
西東京市 × 探究
明保中学校
R6. 6. 21



- ⑤校外学習で西東京市内めぐりに行ってきました。それぞれの班テーマ「問い」にそったコースを各班でめぐり、田無神社や東伏見稲荷神社、市役所や図書館、児童館などの公共施設、近隣の企業やお店の方にインタビューなど、「情報収集」に取り組みました。



【2 学年】

ねらい

大阪・関西万博の「すべてのいのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、西東京市活性化のために、東京都の良さや問題について考えたり、SDGs への取組を知ったりする活動を通して、西東京市に取り入れられそうなことを模索していく。

- ①ジュニア EXPO2025 教育プログラムの読本をもとに、まずは万博の歴史やSDGs との関係について学びました。



②SDGsは、わたしたちとどのようなつながりがあるのか考えました。また、世界中で多くのいのちが輝くことができない理由についても考えました。

③探究課題「西東京市の“すべての”いのち輝くSDGsアイデア」をテーマにSDGsに取り組んでいる企業の考えや大切にしていることを紹介していただきました。AB組は、三井住友海上火災保険株式会社様、CD組は、鹿島建設株式会社様とZOOMをつなぎジュニアEXPO2025教育プログラムリサーチミーティングを行いました。

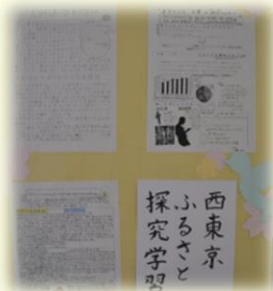


【3 学年】

ねらい

これまでの地域調べや職場体験、ボランティア体験など地域との関わりを通して、地域社会に生きていく一員として、持続可能な社会の実現に参画する姿勢を身に付ける。日常や地域の生活における問題を発見・解決する力や新たな価値を見出す創造力・発信力を身に付ける。

- ①日常生活、学校生活、職場体験など、これまでの身近な経験から、より良い生活にするための課題を個人で挙げてみました。シェアする中で、より具体的なポイントや新たな改善点も浮かび上がってきました。
- ②NHK for school「陳情」を動画視聴することで、小学生や中高生も公共機関や企業に思いを届けている現状やその方法について学びました。
- ③陳情や企業へ訴えかけた事例の課題や解決方法を分類しながら、具体的に自分たちが動く想定をしてみました。
- ④明保フェスで多くの人に課題を知ってもらうために、掲示物を作成しました。当日は、明保中の生徒のほかに近隣の小学生やその保護者、地域の方々も来場されました。



今後の予定

【第1 学年】

西東京市内めぐりにて集めた情報を「整理・分析」し、「まとめ」として、課題の解決策を新聞、スライド、ポスター等で発表する予定です。

【第2 学年】

都内巡りにて、SDGs に取組む施設を訪問し、課題解決に向けたヒントを得て、すべてのいのちが輝くSDGs アイデアを西東京市に提言する予定です。

【第3 学年】

明保フェスでいただいた意見をもとに、今後は陳情書や企画書の作成に動いていく予定です。